

～レースレポート TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge～

2026年 第3戦 富士山すその



新卒ドライバー加藤選手
ラリーチャレの洗礼を浴びる!

2026/5/16(土)～2026/5/17(日)

静岡県裾野市

<p>■ 大会概要</p> <p>日程: 2026/5/16(土)～5/17(日)</p> <p>場所: 静岡県裾野市</p> <p>総走行距離: 66.26km</p>	<p>■ スペシャルステージ設定</p> <p>SS1: 0.43km SS 順位 21 位</p> <p>SS2: 3.46km SS 順位 17 位</p> <p>SS3: 2.02km SS 順位 16 位</p>	<p>SS4: 0.43km SS 順位 16 位</p> <p>SS5: 3.46km SS 順位 15 位</p> <p>SS6: 2.02km SS 順位 13 位</p>
---	---	--

■ リザルト CH-2: YARIS/Vitz ガソリン車(MXPA10/NCP131/NCP91) 17位/23台

14	151	高須 敬男	鈴木 規晴	ヤリス	MXPA10	釜屋工業たのしんじやうヤリス	0:38.3	3:28.6	2:11.1	0:38.3	3:38.1	2:14.9	12:49.3
15	166	岡本 一希	岡本 崇志	ヴィッツ	NCP131	OJヴィッツ	0:42.2	3:40.3	2:12.9	0:40.6	3:40.9	2:12.3	13:09.2
16	169	船原 徹	浅井 美帆	ヴィッツ	NCP131	NTP GRG NAVUL ヴィッツ	0:44.8	3:40.8	2:12.5	0:46.1	3:36.2	2:11.9	13:12.3
17	168	加藤 光空	杉浦 真吾	ヴィッツ	NCP131	GLW Racing 1st VITZ!	0:48.5	3:50.8	2:16.0	0:43.9	3:36.4	2:10.5	13:26.1
18	173	田村 怜音	高木 俊輝	ヤリス	MXPA10	TEAM 群馬トヨペット YARIS	0:44.3	3:49.3	2:17.5	0:43.5	3:46.4	2:21.9	13:42.9
19	167	西岡 浩志	藤井 修士	ヤリス	MXPA10	岡山トヨペットGRGarage倉敷ヤリス	0:43.3	4:08.5	2:25.9	0:42.4	3:51.6	2:18.6	14:10.3
20	162	石原 浩二	熊野ラリサ	ヤリス	MXPA10	オカザえもんRacing R&Eヤリス	0:47.7	4:16.8	2:30.4	0:45.3	4:02.9	2:27.3	14:50.4
21	172	藤村 優樹	根本 順朗	ヤリス	MXPA10	トヨタ東日本Yaris チーム岩手工場	0:46.1	4:15.8	2:32.6	m 1:03.2	3:55.5	2:23.2	14:56.4
22	170	ヤリス	MXPA10	KIDY X Campbell YARIS	0:40.6	4:24.7	2:36.6	0:53.2	4:14.1	2:24.1	15:22.2

ダイジェスト

5/16～5/17 に静岡県で開催された TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 第3戦 富士山すそのに GLW Racing Team が参戦。
今シーズンは新入社員の加藤光空をドライバーに据え、コ・ドライバーの杉浦真吾がサポートする体制でラリーチャレに臨んだ。



ラリーチャレ初参戦を迎える加藤選手

この4月に新卒入社しライセンス取得から間もない加藤にとっては初めてのモータースポーツの大会となる本戦、まずは完走を目指す。

ラリーチャレ参戦3年目を迎える GLW Racing Team と Vitz だが、今シーズンからは Vitz と YARIS が混走する CH-2 というクラスに変更された。過去2戦のリザルトでもマシンスペックに勝る YARIS がクラス内上位をほぼ独占している状態だが、一つでも上の順位に食い込みたい。

加藤・杉浦両氏は昨年までのオンボード映像を見返したり、ネット上に上げられている他エントラントの動画を参考にしたりしながらイメージトレーニングを進めた。

トヨタ自動車東富士研究所も位置する裾野市はクルマ文化・モータースポーツ文化が根付き町の方々の熱量も高く、そこに荘厳な佇まいの富士山のバックグラウンドが重なり、多くのラリーチャレ会場の中でも人気の町だ。

セレモニアルスタート直後の SS1 は昨年のドライバー大野秀昭が同車両で 37.4 秒とクラス内トップタイムを出しておきながらミスコースを冒した苦い記憶の残るコース。

加藤は林道を得意としているもののパーク内 SS は苦手としており、48.5 秒でクラス内 21 位という結果でスタートした。

林道の SS2、SS3 は SS1 よりは良い走りができただものの、車両理解・タイヤ理解がまだ十分に進んでおらず、17 位、16 位に沈んだ。最長の SS2 はトップから 36.6 秒ビハインドという内容だった。順位としては低調ではあるものの、SS3 の後半からはタイヤグリップの感覚を掴み始め、後半の SS でのタイムアップに期待がかかる午前中の終わり方であったと言える。



富士山をバックに町を走る Vitz (ファンの方撮影)

休憩直後の SS4 は 43.9 秒で 16 位だった。

上位陣には大きな溝を開けられてはいるが、このショートコースで午前中から 4.6 秒縮めており、車両理解が進んでいる証左となった。

続く SS5 では午前中よりもコーナーでの減速を大幅に減らし、コーナー通過速度が劇的に速くなった。また立ち上がり時のアクセルもかなり手前から踏み込めるようになり、一つ一つのコーナーで午前中とは見違えるほど違いが生まれた。

ところが SS 中盤でコドラの杉浦がまさかのロスト。20 秒ほどの区間を加藤が



レース部の先輩のスタラから教わりながら車両整備をする新卒社員のニャン

自分の勘と午前中の記憶を頼りに走らざるを得ない展開に。すぐに復帰はしたものの、このロストを原因として恐らく2秒ほどのタイムロスに繋がっていきそう。結果、当 SS はクラス内 15 位だった。

気を取り直して迎えた最後の SS6 ではお互いの息が良く合い、またこれまで SS を 5 つこなしてきた甲斐もあってか加藤の車両理解も大分進み、午前中から 5.5 秒削ってクラス内 13 位の成績を残した。

コドラ杉浦のミスで SS5 前に TC 早着をしてしまい 10 秒ペナルティーを取られてしまい、最終的な順位はクラス内 17 位だった。



経験値の低いメンバーを引っ張る GLW Racing Team 総監督の佐々木良典

タイムも順位も誇れるものではなく、一言で表せば「モータースポーツの洗礼を浴びた」という内容であったが、ドライバーの加藤は今回がモータースポーツの初戦、杉浦とのペアも当然初めてであったため、まだまだこれから改善していける点は多いだろう。

むしろ午前中から各 SS で 5 秒程度のタイムアップを果たしており、今後の伸びしろに期待が持てる。



浜松で働くモータースポーツ好きのメンバーも応援に駆けつけてくれた

全 SS でスタートに失敗しており、スタートの練習と前述の通りジムカーナの経験を積む準備は必須だが、林道の走りについては次回以降良い位置で戦えるだろう。

【ドライバーコメント】

加藤光空選手：モータースポーツ自体が初めてだったため右も左も分からない状態でしたが、多くの方々からサポートしていただいて参戦でき、感謝の気持ちでいっぱいです。車に少しずつ慣れてきた実感があり、今回よりも良い順位を目指して頑張ります。6 月末の次戦ではしっかり結果で返したいです。

【コ・ドライバーコメント】

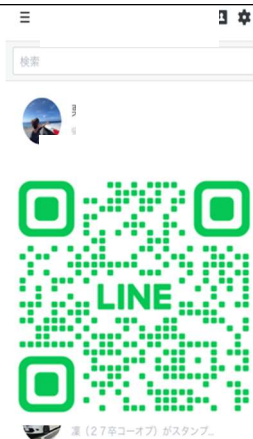
杉浦真吾選手：これまでは先輩達に引っ張ってもらい様々なサポートを受けながら競技に集中することができていましたが、今回は人事として日頃から新入社員研修をしていた新卒社員を引っ張っていく立場になりました。そのような中で自分自身のミスで TC 早着を冒してしまったり、ロストしてしまったりと、足を引っ張ってしまい反省点が多い週末でした。全体としてはドライバーの加藤選手を上手くモチベートし、アシストできた場面も多く、確かな手応えも感じています。1 年間シーズンを通すのが楽しみです。



パーク内最初の SS1 でモータースポーツの壁の高さを思い知らされる加藤選手と杉浦選手

各種 SNS やっています！

公式 LINE
候補者との主要連絡手段



YouTube
日本語 8 割・英語 1 割・ベトナム語 1 割



X
主にレースについて発信



Linkedin
海外向け情報発信・採用



Instagram
リール投稿してます！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業 5 年目の若い会社ですが、社員数は既に 130 人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が 7 割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

GLW Racing Team は社員チームに拘り、モータースポーツと設計の良いフィードバックループを生み出し、もっと良いクルマづくりに貢献します。今シーズンは GR86/BRZ Cup、TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge に参戦します。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 海外戦略部/人事部 シニアリーダー 杉浦 真吾

TEL: 045-900-8393 E-mail: newg-recruit@glw.co.jp

